アメリカ・キリスト教入門

『アメリカのキリスト教がわかる』がさらに詳しく、わかりやすくなって登場！！

アメリカの政策を知る上で切り離すことができない、アメリカ・キリスト教。その歴史を、「ピューリタンたちによるイギリス人植民地の誕生」から「バイデン大統領の時代」まで、専門用語をなるべく避け、初学者にもわかりやすく解説。アメリカ文化のみならず、日本各地の教会やキリスト教主義学校、病院の背景、さらには、世界情勢を知る鍵にもなる一冊。

【著者】
大宮有博（おおみや・ともひろ）
1970年大阪生まれ。関西学院大学大学院神学研究科博士前期修了。
Graduate Theological Union。2003年London Bible College。Asbury Theological Seminaryなどで学び、現在、関西学院大学法学部教員。

目　次

第1章　イギリス人植民地の誕生とピューリタン
第2章　大覚醒とアメリカ独立
第3章　リバイバルと南北戦争
第4章　アフリカンアメリカンの教会
第5章　移民の宗教
第6章　世界に広がるアメリカのキリスト教
第7章　産業発展期のキリスト教
第8章　プロテスタントにおける新しい潮流
第9章　二つの世界大戦から冷戦
第10章　変革の時
第11章　政治化したファンダメンタリスト
第12章　9.11からバイデンの時代へ

A5判・並製・294頁、定価2,860円（本体2,600円＋税）　ISBN978-4-87395-87395-802-6　C0016（日キ販）